

かすみがうら市議会 議長様



令和6年6月20日

母（王乖彦^{オウカイゲン}）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情

陳情者

住所：

電話：

氏名：張 一文^{チヨウ イチブン}

陳情の趣旨：

- 1, 人道的な立場から、不当な扱いを受けている母の境遇にご関心をお持ちいただき、一刻も早く救出すべく、駐日中国大使館（03-3403-3388）、在中国日本大使館（+86 10 8531 9800）及び日本の外務省（03-3580-3311）に働きかけてください。
- 2, 国に「王乖彦さんの早期救出を求める意見書」を提出してください。

陳情の理由：

私は張一文と申します。10 年前留学のため中国宝鶏から来日しました。今は東京都に住みメディアに勤務しています。中国で逮捕拘留されている母・王乖彦の救援にご協力賜りたく、お願いを申し上げます。

母、王乖彦は 61 歳で、陝西省宝鶏市に住んでいます。2024 年 4 月 11 日に、母が友達の家にいた際、法輪功を修煉していることを理由に現地の警察に押し入れられ、強制連行され、現在宝鶏市第二留置場（電話：86-917- 3572694）に拘束されています。

元々体が弱い母は 34 歳（私は 5 歳）の時、病院で心室性期外収縮と診断され、多くの医学専門家に診てもらいましたが、改善しませんでした。1998 年に、父の同僚に法輪功を紹介され、「真、善、忍」の教えに関心した母は法輪功を始めました。幸運なことに母は奇跡的に快復しただけでなく、その後二十数年に渡り、一度も病院に行くことなく、健康を維持してきました。

しかし、1999 年 7 月 20 日、当時の国家指導者、江沢民は、嫉妬心から法輪功への残忍な迫害を開始しました。拷問迫害による死亡者は、身元が確認できた人数だけでも 5000 人以上に達しており、実際の人数は統計することすらできないと言われています。2023 年、陝西省では、少なくとも 215 人の法輪功学習者が迫害を受けています。そのうち、2 人が死亡し、63 人が不法に収容され、13 人が不法に逮捕され、12 人が不法に裁判にかけられ、47 人が不法に家宅搜索され、63 人が嫌がらせを受け、4 人が放浪生活を余儀なくされ、1 人が精神病院に収容されています。また、大連市長であった薄熙来は法輪功学習者から生きたまま臓器摘出を行うことを考え、それを瞬く間に全国に広め、臓器摘出から遺体の販売まで一貫して行う殺人産業を形成し、地球上にかつてない邪悪を造り出しました。

中国共産党政府の血に染まった手によって、健康体となった母から臓器が収奪される可能性さえあります。そして母が一日でも長く拘留されれば、その分拷問に遭うリスクも高くなるのです。

私は母と一緒に法輪功を修煉していたため、もし日本から中国に帰れば、飛行機から降りた途端に逮捕される恐れがあります。そのため、この 10 年間、親族が亡くなった時も中国に帰ることができませんでした。母の不法逮捕によって、悲しみと不安と無力感に苛まれている私に、どうかお力をお貸しくださいますよう、切にお願い申し上げます。

王乖彦^{オウカイゲン}さんの早期救出を求める意見書（案）

張^{チョウ イチブン}一文さんは10年前に留学のため来日し、今は東京都に住みメディアに勤務しています。張さんの母親の王乖彦さんは以前、心筋炎や心室性期外収縮で入院し、そのために、張さんの父親の体重は2ヶ月で15キロも落ちました。医者だった王乖彦さんは手を尽くしましたが、治りませんでした。1998年に法輪功を修煉し始めたところ、2人とも病気が治り、それ以来26年間、健康を維持しています。以前は病気の苦しみのために怒りっぽかった張さんの両親は、穏やかで優しくなり、仲睦まじくなりました。

しかし、中国共産党政権は1999年7月20日から法輪功に対しての弾圧を始めました。王乖彦さんは、張一文さんが7歳の時からその弾圧で何回も逮捕されて監禁されました。今回警察は、2024年4月11日に王乖彦さんが他の学習者の家にいたところを不法に連行して陝西省宝鶏市第二留置場に拘束しました。

1999年以来、中国で拷問や迫害により死亡した法輪功学習者は、身元が確認できた人数だけでも5,010人以上に達していて、実際の人数は統計することすらできないと言われています。

現在、留置所に拘束されている王乖彦さんの親族は今でも彼女に面会することさえ許されていません。今、張一文さんの母親、王乖彦さんの身には重大な危機が迫っています。

よって、国におかれましては、人道的見地に立って在日社員の張一文さんの母親、王乖彦さんの早期救出に全力を尽くすよう強く要望します。

地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

令和6年6月4日

〇〇〇〇〇〇議会議長 〇〇 〇〇

宛先：

衆議院議長	額賀 福志郎 様
参議院議長	尾辻 秀久 様
内閣総理大臣	岸田 文雄 様
総務大臣	松本 剛明 様
外務大臣	上川 陽子 様
国家公安委員長	松村 祥史 様
警察庁長官	露木 康浩 様



かすみがうら市議会事務局 陳情担当係様

私は張^{チヨウ}一文^{イチブン}と申します。東京都に住みメディアに勤務しています。母・王乖彦^{オウカイゲン}は、中国伝統の気功修煉法・法輪功を愛好し、真善忍の信仰を堅持しているというだけで、中国陝西省宝鶏市第二留置場に不法拘禁されています。残酷な拷問を受け、臓器を収奪される恐れさえあります。一刻も早く母を救出するために、貴議会に対して、陳情書を提出させていただきました。「王乖彦さんの早期救出を求める意見書」を国へご提出いただきますよう、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

また署名活動を行っておりますので、議員先生のご理解と署名へのご協力をお願いいたします。後程、別便で署名用紙と関連資料を郵送させていただきます。お手数ですが、配布していただけますよう、よろしくお願い申し上げます。もし配布できなければ、予め下記メールまでお知らせしていただくようお願いいたします。

令和6年6月25日

住所：

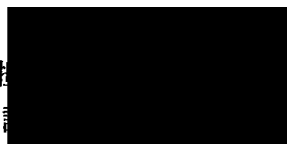


張一文

e-mail：

連絡先

電話



なぜ迫害されていますか？

中国から世界に伝えられたこの功法は、発祥地の中国では現在弾圧されており、愛好者たちも迫害を受けています。それはなぜでしょうか。

優れた健康効果で法輪功の愛好者は7年間で1億人にもものぼり、中国共産党の党員数7千万人を超えました。その勢いに、当時の中国共産党の党首・江沢民は、共産党政権から人心が離れることを恐れ、極端な嫉妬心から、1999年7月、理不尽にも法輪功愛好者を「消滅せよ」と命じました。

ワシントン・ポスト紙は「中国共産党の内部情報により、江沢民は政治局常務委員らの反対の声を押し切り、一人で弾圧を命じたことが分かった」と報道しました(1999年)。



法輪功愛好者が中国で発言権を奪われている。

世界規模の宣伝攻撃

—迫害を正当化する謀略—

アムネスティ・インターナショナルは2000年の報告で、中国共産党政権が「大量の宣伝運動」を利用して法輪功を誹謗中傷している行為は、ナチスがユダヤ人に行った恐ろしい攻撃宣伝と驚くほど類似していると指摘しました。

中国共産党政権は、中国国内でインターネット、テレビ、ラジオなどすべてのマスコミを制御し、法輪功の迫害に関する情報を封鎖しています。また、経済関係や政治的圧力を利用し、欧米の主流マスコミに真実の状況を報道させず、同時に中国国内のマスコミを利用し、中国国民に対して法輪功の誹謗中傷宣伝を展開しています。

世界から声援

米国下院議会

「臓器狩り」と法輪功迫害の停止を求める決議案を可決



米国下院議会は2016年6月13日、中国共産党政権に対し、強制的な臓器摘出ならびに法輪功迫害の即時停止を求める343号決議案を満場一致で可決しました。

欧州議会「臓器狩り」停止を求める声明文を発表

欧州議会は2016年9月12日、欧州連合全加盟国の414名の議員が署名した48号声明文を発表しました。声明文は、欧州委員会と欧州連合理事会に対して、中国共産党政権が行っている良心の囚人からの強制的な臓器摘出（臓器狩り）を即時制止するために行動を起こすよう求めるとともに、すぐさま独立調査を行うよう求めています。

英国民衆法廷の最終判決「中国臓器狩りは有罪」

2019年6月17日、英国の国際民衆法廷が最終裁定を発表した。「裁定の要旨」：強制臓器収奪は、中国全域で、何年にもわたり、かなりの規模、行われてきており、法輪功学習者がおそらく主な臓器源である。強制臓器収奪は今日も続けられていると結論する。



マーク・パーマー
元米国駐ハンガリー大使
(米務省に26年在籍)

「法輪功は、今日のアジアで最も素晴らしい精神運動です。その勇気と重要性に匹敵するものはありません」

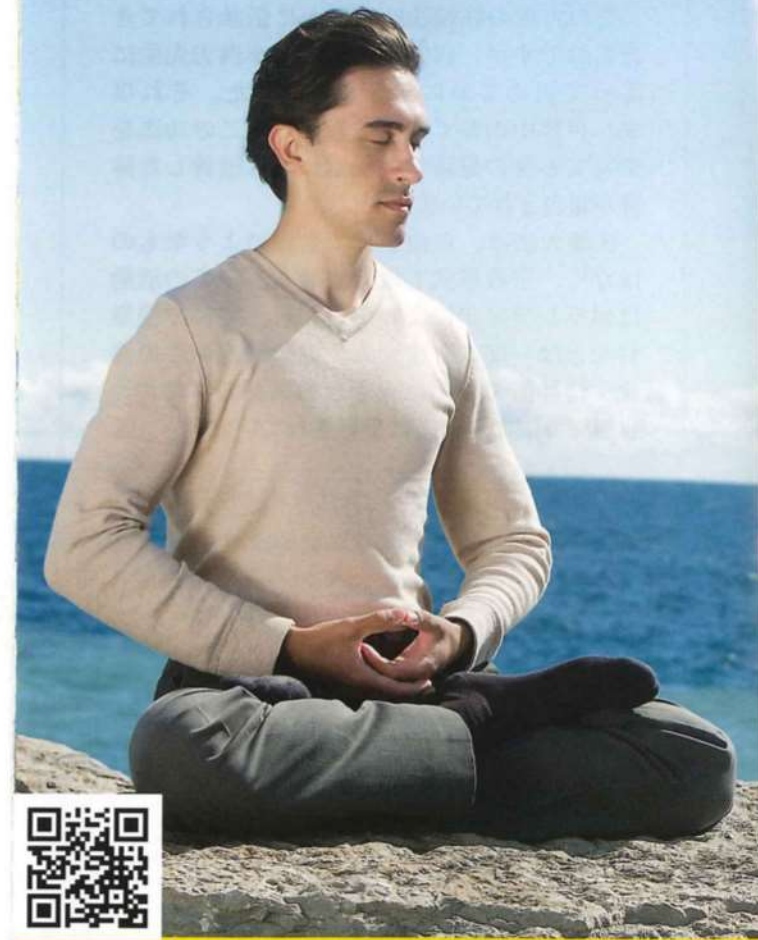
皆さんの力により、
中国で迫害されている法輪功の学習者たちを助けて！

- ・国会議員、地方議員、警察へ理解と協力を求める
- ・友達、家族、職場の同僚、地域の議員に伝える
- ・マスコミに伝え、迫害の事実を報道してもらう
- ・迫害されている在日中国人の親族を救出する活動に参加する

詳しくは：

ja.falundafa.org (日本語、法輪功に関するサイト)
jp.minghui.org (日本語、法輪功に関する最新情報サイト)
fofg.org (English/ 中国語、アクション・サポートサイト)
upholdjustice.org (English/ 中国語 迫害調査報告サイト)
falundafa.org (Multilingual, for info on the practice)
このチラシの製作と印刷費用は、すべてボランティアでまかなわれています。

ファルンゴン 法輪功 (法輪大法)



真 善 忍

<http://ja.falundafa.org>

法輪功は全て無料で学べます

法輪大法とは？

法輪大法は法輪功（ファルンゴン）とも呼ばれ、心身を養う中国伝統の修煉法です。簡単にゆったりとした動作と、自分の心を修めることによって心身の向上をはかります。この功法は「真・善・忍」に基づく心身鍛錬の実践方法です。

この古代の修煉法は、秘かに伝承されてきたものですが、1992年に中国で李洪志先生によって初めて公に紹介されました。それ以来、世界中の多くの修煉者から、この功法を学んで心身の健康状態が速やかに改善した体験が報告されています。

法輪大法は、自由参加で名簿のようなものではなく、宗教形式も取りません。全ての活動はボランティアによって行われ、寄付や授業料などは一切取りません。健康増進や心の浄化、精神面の調和に大きな効果があります。世界80カ国の一億人に愛好されています。

法輪大法の書籍

『転法輪』という本は、法輪大法の教えを系統的に述べています。

また、もう一冊の『法輪功』は入門編で、気功動作が写真付きで詳しく掲載されています。いずれも創始者の李洪志氏の著作で、NPO 日本法輪

大法学会のサイト (<http://ja.falundafa.org>) から無料でダウンロードすることができます。また、博太書店 (03-6914-3843) など全国各書店で注文することもできます。



今日から学んでみよう！

煉功の動作は、第一功法から第五功法まであり、各地域の公園や公民館などで定期的に開かれるボランティアの勉強会で、無料で気軽に学ぶことができます。興味のある方は気軽にお訪ね下さい。連絡先については、NPO 法人日本法輪大法学会ホームページ (<http://ja.falundafa.org>) まで。

「気分はますます快調、体が強くなり、頭もすっきり」

61歳 女性



57歳の時に法輪功に出会いました。当時は疲れやすく、毎日午後の昼寝がなければ生活できないような状態でした。4年後の今、私は前よりも若々しくなり、しわもほとんど消え、活力がみなぎっています。以前より睡眠時間が少なくても気分はよく、体が強くなり、頭もすっきりしています。

「現代生活を送る人へ」

マーケティング部長

昨年、腰通で悩んでいました。煉功をした時、腰の周りが熱く感じました。しばらくして腰痛が治りました。これらの教えを通して、自分自身、生きる意味やいかに自己を向上させるかよく理解できました。現代生活を送る人々に素晴らしい実践だと思います。

第一功法：佛展千手法

身体を緩やかに伸ばす動作で、エネルギーが詰まっているところを全て通じさせます。



第二功法：法輪樁法

穏やかに法輪を抱く四つの静止動作からなっており、智慧を明らかにしエネルギーの次元を向上させます。

第三功法：貫通両極法

宇宙の高エネルギーを体内に貫通させます。大量のエネルギーを排出、また取り込むことによって身体の浄化をはかります。



第四功法：法輪周天法

人体のエネルギーを全身に循環させます。身体の前後、全ての部分に及びます。身体がよくない状態を正し、全身の気脈が滞りなく通じるようにします。



第五功法：神通加持法

座禅を組んで行い、神通力を強める静功修煉です。この功法では、大量のエネルギーが流れ、エネルギー場は非常に強くなります。長時間座禅を組めば、効果はいつも高くなります。

避難所で
法輪功を紹介

東日本大震災の後、避難所約200箇所を訪問し、被災者の皆さんに法輪功を紹介しました。

被災者の皆さんからは、「体が軽くなった」「心の辛さが少し楽になり、希望が持てるようになった」などの感想や、お礼の手紙が寄せられました。なかには、90歳くらいの腰の曲がったお婆さんが、初めて法輪功の動作を体験したところ、突然腰が伸ばせるようになり、ご家族もびっくりするという例もありました。

日本各地のボランティア練習場の連絡先
東京都：佐藤 090-8173-2311；王 080-4352-6327
北海道：星野 090-1303-6315；岩手県：張 080-5191-8282
1 栃木県：軽部 080-3381-8617；茨城県：王 070-5545-4375

埼玉県：澤岡 080-4427-9955；稲垣 090-7944-5266
千葉県：徳永 090-6718-6061；神奈川県：馬 080-1236-8899
静岡県：榎林 080-4217-3099；愛知県：杉田 090-6350-0299
2 三重県：原田 080-5214-9833；長野県：佐々木 090-5204-6463

京都市：澤 090-7551-8084；大阪市：鷺島 06-6352-8366
兵庫県：坂本 080-3110-7720；岡山県：甄(けん) 090-7596-0136
広島県：佐々木 090-4101-4942；熊本県：佐藤 090-3012-7914
3 福岡県：衣 090-8832-6669；鹿児島：山下 099-547-4184

一刻も早く、無実の罪で囚われた母を救出するために

署名活動にご協力ください

中国共産党政府は 25 年間にわたって法輪功に暴虐な弾圧をしています。中国では数千万人の罪のない人々が、法輪功を修煉しているという理由だけで、中国当局による拉致・監禁・拷問、さらに臓器摘出の危険に日々さらされています。弾圧で死亡した学習者の人数は、確認されただけでも 5,010 人に達しています。(2024 年 6 月現在)

そんな中、東京都に住みメディアに勤務する私、^{チヨウイチブン}張一文の母で、中国陝西省宝鶏市に住む^{オウカイゲン}王乖彦も、法輪功学習者というだけで、2024 年 4 月 11 日に中国の警察に不法に連行され、宝鶏市第二留置所に拘束され迫害を受けています。

-----ご署名のお願い-----

私は、「一刻も早く、無実の罪で囚われた母を救出する署名活動」に賛同し、支援します。故に、駐日中国大使館と日本の外務省に働きかけ、1 日も早く中国で迫害されている家族を救出するよう求めます。

ご署名： _____ ご職業・肩書き： _____

Tel/Fax： _____ 署名日： _____

Email： _____

※ご記入いただいた個人情報は、上記の目的以外には使用いたしません。

署名用紙は、お手数をおかけいたしますが、ご記入後 XXXXXXXXXX までファックスにてご送信くださいますようお願いいたします。

問い合わせ：中国で迫害を受けている法輪功学習者を救う会 XXXXXXXXXX

HELP、助けて



張一文

私が生まれ育った中国には言論の自由がない。メディアは中国共産党の代弁者であって、日本のマスコミのような報道機関は存在しない。

中国の報道機関はいつも共産党政権に同調し、言いなりになっている。1999年7月20日に共産党が法輪功に対する迫害を始めた時も、すべてのテレビ局や新聞社はいっせいに法輪功を誹謗中傷する内容を報道した。私たちは声を上げたくても上げられない状況だった。

私はその影響で、今回の「母の不法逮捕」までその恐怖と隣り合わせで生きてきた。

母が不法に逮捕されたのは今回が初めてではない。1999年から今に至るまでの25年の間に、私の母は何度も不法に逮捕され判決を受け、投獄されてきた。私が育つ中で、母と過ごせた時間はわずか5年にも満たないものだった。私は以前友人に、冗談まじりに「母はいるが、他人から見れば片親で育った子供に見えるかもしれない」と言った。誇張ではなく、中国にいた時は、警笛を聞くだけでいつも緊張し、母が逮捕されるのではないかと常に恐れていた。

「真、善、忍」を肝に銘じて

1998年、私が6歳の時、家族で法輪功の修煉を始めた。

当時、心臓病を抱えていた母は、知人の紹介で中国で人気の健康法である気功に目を向けた。なかでも法輪功は、奇跡的な健康効果から中国全土で一大ブームを起こしていた。

両親は法輪功の「真、善、忍」の理念に深く感銘を受け、「これこそ自分が待ち望んでいたものだ」と思ったそうだ。修煉を始め、「真、善、忍」に従って自分を律してきたら、現代医学では解釈できない奇跡が両親の身に起き、2人とも自然と病気が治った。



▲ 衆議院第二議員会館にて請願、母・王乖彦の解放を求める

不法に勾留された母

今年（2024年）、私の母・王乖彦（オウ・カイゲン）は中国の留置場で勾留された。

4月15日、陝西省宝鶏市第二留置場から父に、「王乖彦が施設内で生活するために、日用品を買う金が必要だ」という連絡が入った。単身赴任中の父は、その一報で初めて母が勾留されていることを知ったという。日本では考えられない対応だ。

私は「明慧ネット」という安全な情報サイトを通じて、母が他の法輪功学習者とともに不法に逮捕されたことを知った。すぐに中国の公安や留置場などに電話をかけたが、母との会話などは一切許されなかった。



▲ 天安門広場で法輪功学習者を押さえつける警官

母は修煉する前、計算高い人だった。法輪功を修煉してからは、他人のことを優先して考えるようになり、寛容さや慈悲の心、道徳を重んじるようになった。私は複雑なことは理解できなかったが、当時「真・善・忍」の教えをずっと肝に銘じている。

国家ぐるみの迫害

1999 年には、法輪功学習者の数が当時の中国共産党員の数（約 6350 万人）を上回った。

当時の共産党トップ・江沢民は、そんな法輪功の人気に嫉妬し、恐怖を覚えた。「真・善・忍」の理念が広がれば、嘘と暴力で維持されている共産党政権の支配は崩れてしまうからだ。

そこで、江沢民は法輪功への迫害を始めた。それまで中国全土で広く称賛されていた法輪功は、一夜にして「危険なカルト」として中傷されるようになった。



▲ 1999 年以前、北京の法輪功学習者が煉功する

法輪功に対する迫害は国家規模で行われた。多くの地域の学校で、法輪功に反対する署名活動や宣伝活動が実施され、教科書には法輪功を貶める内容が掲載された。法輪功学習者を発見して警察に通報した国民には、報奨金が与えられた。

当時教師だった母の上司は公安に協力し、母の給与を月 2 万円以下にカットした。それは母に修煉を放棄させるためだった。私が子供の頃に法輪功と一緒に学んだ友達とは、迫害が始まってからはほぼ誰にも会っていない。親が殺されてしまった子も数人いる。

実際、中国の法律では、法輪功は違法とはされておらず、カルトでもない。2011 年 3 月 1 日、中国新聞出版署長は、法輪功関連印刷物の出版を禁止する 50 号の禁止命令を取り消し、法輪功の全ての出版物や宣伝資料が合法であると宣言した。

法律で規定されていなければ罰することはできないということは、法の基本原則だ。法輪功を「カルト」と定義した唯一の文書は、最高人民法院と最高人民検察院が出した内部通知に過ぎず、これらは法的根拠としては成立しない。

恐怖が消えた

4 月に母が拉致されたと聞いて、私は様々な政府機関に電話をかけ、母の釈放を求めた。

政府関係者に電話をかけるのは初めはかなり怖かった。ある日、電話で母の釈放を求めているとき、相手の声がかなり緊張しているように聞こえた。ふと「彼らも怖がっているのではないか」と気づいた。彼らは自分たちの悪事が暴かれることを恐れている。そのことに気づくと、私の恐怖心が、全てではないが、自分が感じるほど自然と消え去った。

私は大紀元の記者として、中国共産党にとって都合の悪い真実を日本社会に伝えている。これまでは、中国にいる家族が嫌がらせを受けることを心配して、本名と顔を出さないようにしていた。

今回、母の救出活動をきっかけに、自分の考えも一変した。私が堂々とすればするほど、法輪功迫害に対する世間の関心が高まれば高まるほど、中国共産党当局は私の家族への迫害をためらうだろう。

母は恨まなかった

私はこれまで、無実の人々を逮捕し、裁きにかかる中国の役人を、全員悪者だと思っていた。しかし、母は違った。

母は 7 年前にも拘束されたが、その時の法廷での陳述で、「法輪大法の信念を迫害する行為は犯罪にあたるので、その罪を犯さないでほしい」と役人に呼びかけ、迫害停止を訴えていた。母の慈悲深さと真相を伝える姿勢は、裁判官や検察官に深い感銘を与えたようだ。

この話は最近初めて知った。直接迫害を受けた母には怨恨の心がないのに、私には中国共産党の嘘に騙された人々を責める心があった。そんな自分の怨恨の心を私は恥じた。

無関心の恐ろしさ

多くの中国人は「法輪功は自分には関係ない」と思って、この問題を見逃している。それは、中国共産党のおかげで自分の暮らしがあると洗脳されている。

私は日本で信仰の自由を享受できている。しかし母国では、友人や家族が信仰を貫こうとしただけで家庭や仕事、自由、そして命さえも失っていくのを目の当たりにしてきた。

この恐ろしい迫害を国民が黙って見過ごしたことで、生体臓器摘出の被害者は法輪功学習者のみならず、少数民族、若者や子供たちにまで広がってしまっている。これは悲劇だ。

今まで中国国内で拷問や迫害により死亡した法輪功学習者は、身元が確認できた人数だけでも 5000 人以上に達しており、実際の人数は統計することすらできないと言われている。母を一刻も早く救出するために、どうか力を貸してください。

米下院 「法輪功保護法案」可決

【明慧日本】米下院は6月25日、『法輪功保護法案』を全会一致で可決した。同法案は、中国共産党（以下、中共）による法輪功への迫害を問題視。法輪功学習者（以下、学習者）からの生体臓器収奪という中共の犯罪を非難し、それに関与した者には資産の凍結や米国への入国禁止といった制裁を科す。

中国の強制的な臓器摘出に制裁

『法輪功保護法案（H.R.4132）』は、ペンシルベニア州共和党のスコット・ペリー下院議員ら18人の超党派の議員に

よって提出された。今後は上院に提出され、可決後に大統領が署名することで成立する。

ペリー下院議員は採択前の演説で、次のように述べた。「1999年以来、法輪功は中共政府による迫害の対象になっています。法輪功は心と体を修める功法であり、その学習者は『真・善・忍』の原則を遵守しています。

1999年、中共は7000万人から1億人が法輪功を学習していると推定していました」

「法輪功は中国で人気がありますが、中共によって残酷に迫害されて

います。法輪功を学んでいる人は不法に拘束され、拷問によって苦しめられ、重労働を強いられ、さらには臓器収奪によって殺害されることさえあります」

「『法輪功保護法案』は、中共による臓器収奪に加担もしくは支援する者に制裁を科すものです」

法輪功への迫害は「基本的人権を侵害」

同法案によると、臓器の強制摘出による人間の殺害は、「医療倫理の普遍的基準に対する重大な違反」。そして中共による法輪功への広範で組織



的な国家主導の迫害は「明らかに学習者の基本的人権を侵害」しており、ジェノサイド（特定の集団の絶滅を目的とした大量虐殺）に該当する可能性もあるという。

迫害は直ちに終結しなければならない

また同法案では国連人権理事会に「法輪功への迫害について中国を正式に非難するべき」と指摘するとともに、「中共による国家主導の法輪功への迫害は、直ちに終結しなければならない」とした。

記事の出典：明慧（ミンフイ）ネット日本語版
米下院で「法輪功保護法案」可決
<https://jp.minghui.org/2024/06/27/101273.html>



『法輪功保護法案』
(H.R.4132)
日本語翻訳版



関連報道（NTD Japan 動画）：
米下院「法輪功保護法案」可決
日本の議員「各国も追随を」



中共による臓器狩りの被害者 実体験を語る

【明慧日本】中国出身の法輪功学習者・程佩明さんは7月3日午後、米国ワシントンD.C.で開かれた記者会見で、中共から臓器を強制摘出された実体験を語った。

縫合された傷跡

程さんは記者団に、上半身左側の縫合された傷跡を見せた。

程さんは、黒龍江省鶏西市出身。1998年3月から法輪功を学んでいるという。記者会見で「中共が1999年

に（法輪功の）弾圧を開始して以来、私は5回も迫害されました。2001年12月、私は不当に懲役8年の実刑判決を宣告されました。その間、強制的な臓器摘出を含め、様々な拷問を受けました」と話した。

麻酔を強制され臓器摘出

程さんは、自らの体験を語った。「2004年11月16日、私は身体的な問題はありませんでしたが、大慶第四病院へ連行されました。

警官は私の家族に、私が危篤状態にあり手術による死亡確率は80%だと告げました」

「彼らは私に手術のサインを求めましたが、私は拒

否しました。その時、6人の警官が私を押さえつけ、麻酔をかけました。19日に目が覚めると、右足は病院のベッドに手錠で固定され、腕や足には点滴が刺され、鼻には酸素チューブが差し込まれていました」

「23日、私は大慶刑務所に戻されました。その後、担架で監房に運ばれました。当時、私は毎日咳き込んでいて、左肋骨が痛くてしびれ、起き上がることもできませんでした。今でも左腕と肋骨に鈍い痛みがあります」

「趙という警官は、手術の間、銃を持って警備していました。受刑者たちは、私が移植手術を受けたことをみんな知っていました」

病院から逃亡

程さんによると、2006年3月2日、刑務所は突然、程さんを大慶龍南病院に強制連行した。医師からは手術をされると言われたが、その時の程さんの体調に異常はなかったという。

3月3日午前2時、警備員が寝ている間に、程さんは病院の非常階段を下りて逃げ出した。その後、地元の公安は市の全域を搜索した。中共公安部は5万元（約110万円）の懸賞金をかけて程さんを指名手配した。

2006年、程さんは明慧ネットで、学習者が臓器を収奪された記事を読んで恐怖を感じたという。「病院での体験を思い出すと、身体が震えました。2ヶ月間、

服を脱いで寝る勇気がありませんでした。2004年に大慶病院で『移植』手術を受けた意味を理解しました」

米国政府に感謝

程さんは、2015年に中国から逃亡した。そして米国政府の人的救助のおかげで、2020年に米国に到着した。「一連の健康診断の結果、肝臓と肺の一部が強制的に摘出されたことが確認されました」と程さん。

「私はあらゆる困難を乗り越えて悪魔の巣窟から抜け出しました。私の願いは、自分の悲惨な体験を公開し、中共の残酷な迫害と臓器狩りを暴くことです。そして、中共による凶悪犯罪を一刻も早く制止することを願っています」



記事の出典：明慧（ミンフイ）ネット日本語版
中共による臓器狩りの被害者 ワシントンで実体験を語る
<https://jp.minghui.org/2024/07/05/101383.html>



関連報道：
EPOCH TV 動画（有料）
強制臓器摘出を生き延びた人が経験を語る

